

第10回 全国ユース環境活動発表大会

…………… 受賞校の皆さん、おめでとうございます! ……………

高校生が選ぶ特別賞

愛媛県立長浜高等学校 水族館部

水族館部は救う、町も学校も!

長浜地域が抱える課題は、少子高齢化による人口減少、地域の衰退です。本校も入学者の減少で将来的には募集停止が予想されていました。これらの課題を解決し、環境教育の場を地域に提供することを目的として、長高水族館が誕生しました。運営する水族館部員は1人1つの担当水槽を持ち、毎月第3土曜日の公開日には来館者と交流し、水槽の解説やさまざまなイベントを開催しています。



先生が選ぶ特別賞

群馬県立吾妻中央高等学校 環境工学研究部

救え!美野原土地改良区! ~10年の成果で農地環境保全・創造モデルへ~

農地管理団体「美野原土地改良区」から10年前に依頼を受け、水田地帯の水路管理データの作成に着手しました。測量技術を駆使して水路図を作成した後、ドローンで写真地図データを構築。2023年からは水路の機能診断や補修作業を進め、情報を地理情報システムに入力しています。システム上では、ち密な水路管理データを構築し、管理体制の効率化を図っています。



協賛企業特別賞

青森県立名久井農業高等学校 FLORA HUNTERS AQUA

厄介者を資源に ~緑化を支えるデュアルシステムの開発~

砂漠化の進む乾燥地には緑化に必要な水と土壌養分が不足しています。途上国の厄介者である2つの汚染水を有効利用するシステムを開発しました。1つ目は富栄養化池沼を無焼成パーミキュライトで窒素分を回収し、緑化植物の育苗に利用するシステム。2つ目は生活雑排水を石灰資材で除菌し、石灰と砂と土で作る三和土をフィルターとして浄化し、栄養分を含んだ水として利用するシステムです。



SDGs 活動特別賞

京都府立桂高等学校 TAFS 第2研究群 芝研究班

循環資源MAPの利用促進 ~安定した食糧生産と脱炭素社会を目指して~

枯渇の危機にある肥料要素リンの原料「リン鉱物」の代替資材として利用できるMAP(リン酸マグネシウムアンモニア)に着目し、研究を行っています。MAPはリンを豊富に含みますが使用例が少なく、産業廃棄物として焼却処分されています。そこでMAPを利用したトマト栽培実験で、従来の化成肥料よりも収量や収益の増加が見込める作型を確立することができました。



審査委員



審査委員長

二ノ宮リム さち
立教大学 教授

<講評>

高校での学習を活かし、非常に高い専門性や技術に根ざす活動が多かったことが印象的でした。また、学校での勉強とは離れたところでも、自らの関心と社会課題を結び付け自発的に取り組まれている姿が大変頼もしく感じました。持続可能な未来へ向けて社会の変革が求められる今、常識にとられない高校生ならではのイノベティブな発想が光っていました。社会づくりを担う市民のあり方を「シティズンシップ」といいます。活動を通じた経験を、学校など自分の周囲の組織や、その先の社会の変革を担うシティズンシップにつなげ、それを周囲の人に広げてください。これから皆さんが進んでいく社会は、皆さんのような人を必要としています。



審査委員

黒部 一隆
環境省 大臣官房総合政策課
環境教育推進室長



審査委員

飯塚 智
独立行政法人環境再生保全機構
理事長



審査委員

山口 しのぶ
国連大学サステナビリティ
高等研究所所長



審査委員

新庄 秀規
読売新聞東京本社
教育ネットワーク 事務局長



審査委員

岩村 寿子
SGホールディングス株式会社
ESG 推進部

